

森のおくりもの 8月



オオムラサキ (タテハチョウ科)



雑木林を代表するチョウで、成虫はコナラやクヌギなどの樹液をエサにする。オスは占有性が強く、他のチョウやときには鳥も追い払うことがある。日本の国蝶に指定されている。

写真：菊池正行

暑い夏の到来です。この暑さにつられて虫たちも活発に動いております。昆虫好きもそうでない方も、街中よりは涼しくすごしやすい森の中でのんびりしてみませんか。心地よい笹川のせせらぎや鳥の声、そして虫の鳴き声などを聞きながら小さな贅沢を感じてください。そんな森が皆様をお待ちしております。
(館長 菊池正行)

青い翅が美しい日本の国蝶 『オオムラサキ』

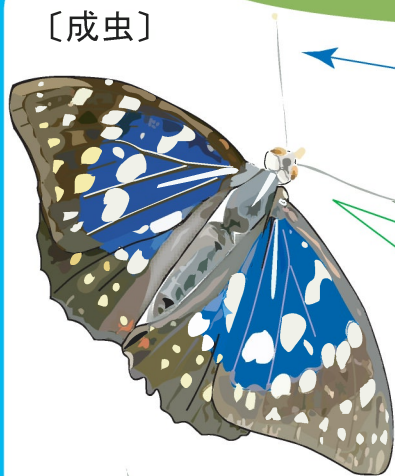


今月の表紙にもなっているオオムラサキ。観察の森では、7月7日にエノキではなくクリの葉裏で蛹を発見しました。羽化の瞬間を見ることはできませんでしたが、17日には背中が割れていて、もう空っぽでしたので、きっと無事成虫になったのでしょう。今年は昨年よりも多くのオオムラサキを目にしている気がします。

メスは翅を開くと12cmほどもあり（オスは10cmほど）、空高く飛んでいるときは、一瞬小鳥かと思うほど力強い飛び方をします。メスは黄色っぽいですが、オスは美しい紫色に輝く翅をもちます。樹液レストランでは、クワガタやカナブンなどとの小競り合いが見られます。気が強く、オオズメバチなど他の昆虫を翅で蹴散らしながら樹液を吸う姿をみることも…

寒さに耐えた幼虫だけが成虫になれる

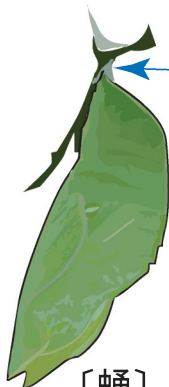
〔成虫〕



触角の先に匂いをかぐ器官があり、ここで相手（オスとメス）を確認する。

クヌギ・コナラなどの樹液や腐った果実、動物のうんちなどの汁を吸うよ

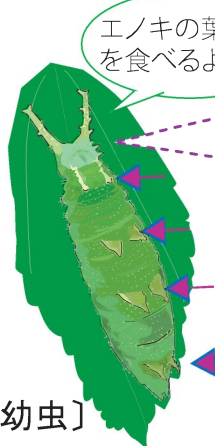
エノキの葉が落ちる頃幼虫は木を降りて、根元の落ち葉にはりついて冬を越すよ。春が来て若葉が芽吹く少し前にまたエノキに登り始め、葉を食べて大きくなるんだ。



根本はマジックテープのように糸にくっついている

大きな蛹は葉と同化していて、見つけにくいよ

〔蛹〕



エノキの葉っぱを食べるよ

〔幼虫〕

2本の角の先はハート型♡

幼虫のかお

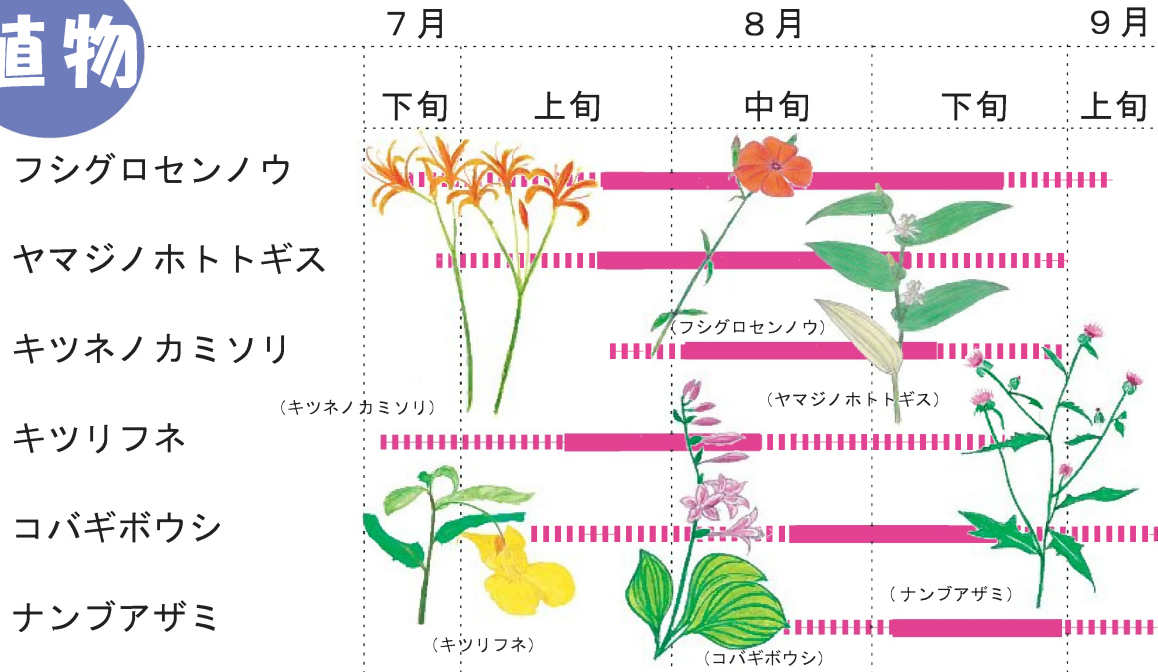
背中に4対の突起がついているのがオオムラサキの幼虫の特徴

♀は♂より幼虫期間が少し長い為、体が大きくなるんだよ

【レンジャー：黒川周子】

8月の生物ごよみ

植物



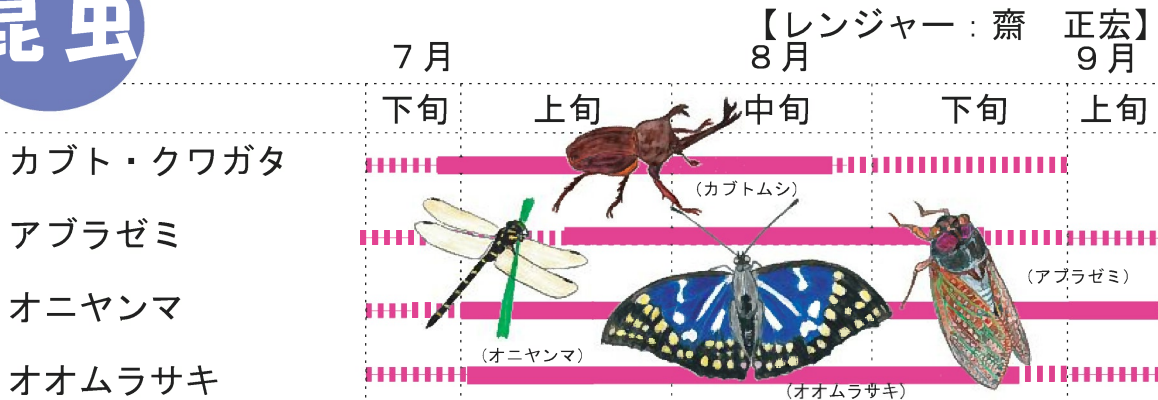
7月の後半に入ってもなかなか梅雨が明けず、雨模様の日が続いています。夜の観察会もあいにくの天気だったせいか、去年はたくさん見ることが出来たホタルも数が少なくちょっとがっかり。

しかし、光るキノコやセミの羽化など、普段はあまり見ることが出来ないものを観察することができ、それなりに楽しい観察会となりました。

セミもこの季節、普段は毎日うるさいくらい鳴くのですが雨と気温が低いせいか今一つ静かです。太白山で観察することができるセミはニイニイゼミ、ヒグラシ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、エゾゼミ、チッチゼミの7種類。鳴くのはすべてオスで、それぞれ鳴き方も違います。

セミのぬけがらで種類や性別も見分けることが出来ます。見分け方は観察センターに来てレンジャーに聞いてみましょう。自分で調べられるように検索表も用意してあるので是非おこし下さい。

昆虫



レンジャー 木もれび BLOG



略してコモブロ 第15回『森の香りに包まれて』

夏の森は生き物のエネルギーに満ち溢れています。パワーが溢れる森には、同時にさまざまな“香り”が溢れます。

これをお読みになっている皆さんの脳裏には、どんな香りがよみがえるのでしょうか？ 濃い緑色の葉が茂って少し薄暗くなった雑木林には、俗に言うカブトムシの匂いが漂っています。少し明るい尾根道を歩けばとても強いヤマユリの芳香が漂います。

ヤマユリの強い香りは、花粉を運んでくれる昆虫たちを呼び集めるために、あのような甘い芳香を放っているのでしょう。

ヤマユリは、風通しがよく直射日光が当たらないような半日陰で、水はけが良く腐葉土の多い場所を好みます。

種子が発芽してから花が咲くまでに少なくとも5年以上かかります。また、長年生きた古い株ほど多くの花をつけるそうです。



自然観察の森でも、薄暗い林のへりに、大きな照明が灯ったように咲くヤマユリの花に出会うことができます。花は見えなくとも強い香りがどこからともなく漂い、その存在に気付くことがあります。

ほかに、森そのものから発散する木々の香りが満ち溢れています。

雨が上がった直後は瑞々しい香りに包まれますし、朝早くは爽やかな夕暮れ時は穏やかな香りが森を包みます。昔話題になった“フィトンチッド”という、樹木自身が出す殺菌成分の香りなのかもしれませんが、どうして時間によって香りの感じが変わるのでしょね。

夏の森は昆虫に目が行きがちですが、時間を変え、場所を変え、気に入った匂い探しの散策に出るのも面白いのではないのでしょうか。

【レンジャー：高橋千尋】

華やかなキノコの森となっております！

ついに8月です。暑い夏がやってきました。降り続いた雨のおかげで、森の中は色とりどりのキノコがたくさん発生してきております。

しかし、昨年、一昨年と2年続けて発生し、「森のおくりもの」でもご紹介しました「ミミブサタケ」は、今年は見ることができませんでした。比較的珍しいキノコとされていることからこれが自然かもしれません。それとは反対に、今年はじめて広範囲に発生して目立ったキノコがありました。そのキノコとは、特に珍しいというものではないのですがシロキクラゲです。この森では、これまであまり見られなかったキノコですので私なりに注目しておりました。純白と言って過言でないほどまっ白できれいなキノコです。このシロキクラゲは、昔、中国では白木耳または銀耳といい、不老長寿の仙薬のひとつとしてたいへん高価なものであったそうです。しかし、現在では人工栽培の技術が確立され安価な乾燥品がたくさん販売されております。



シロキクラゲ

さて、自然観察の森では、シロキクラゲにかぎらず、多くの種類のキノコがこれから秋にかけてたくさん発生するはずですよ。

そこで、この森を利用される皆様にはお願いです。それは、自然観察の森の中では、動植物と同様に、キノコの採取も禁止とさせていただきます。キノコくらいは採取してよいのではとのご意見もあるようですが、皆様もご存知のとおり、キノコは森の循環の重要な役目を担っております。倒木を土に還したり、木の葉などを分解したりと大活躍しております。

さらに、他の動植物のためになくはないキノコもたくさんあります。たとえば、倒木などで繁殖したキノコの菌糸はクワガタムシの餌となり幼虫の成育を助けております。また、ツチアケビやギンリョウソウなどのように養分をキノコの菌から提供されて（もしかして搾取して？）生育する植物もたくさんあります。

ということで、キノコは健全な森を保つためにはきわめて重要なものであり、また、より多くの皆様に自然の中のキノコを観察していただくためにも採取禁止にしておりますので、ご理解のうえご協力をお願いいたします。

【館長：菊池正行】

8月の催し



『夏休み生き物相談室』

生き物に関する疑問や質問にレンジャーが答えます。

【期 間】夏休み期間中

【対 象】小・中学生

【申込み】必ず事前に電話で予約



『森の素材でつくる夏のクラフト』

自然から集めた素材で自分の作品を作りましょう。

【日 時】16日（金）10時～15時

【対 象】どなたでも

【申込み】必要なし。材料がなくなり次第終了。



『キッズ昆虫たんけん隊』

子どもだけの昆虫探検プログラム。大人は参加できません（保護者は希望により別にガイドします）。

【日 時】17日（土）10時～12時

【対 象】小学生15人（多数時抽選）

【申込み】メールか往復ハガキで8月10日必着



『虫とあそぼう！蚊帳あそび』

蚊帳の中で虫とふれあいます。

【日 時】24日（土）13時～15時

【会 場】七北田公園芝生広場

【対 象】幼児～小学校低学年

【申込み】必要なし。直接会場へ

毎週日曜は

『ガイドウォーク』の日！

8月のテーマは『夏の人気者たち』です

開催日は4日、11日、18日、25日

午前の部10:00～11:30 午後の部13:30～15:00

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

●25日の午後には館長によるガイドウォーク「館長と森を歩こう」です。



イベント申込み用 QR コード



8月の休館日

5日、12日、19日、26日が休館です。

♪森へおいでください♪



宮城交通バスの場合

仙台駅前バスプール7番 または 長町駅前から山田自由ヶ丘車庫 行きに乗り 公営アパート前 で下車、徒歩15分でセンター



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター



Webから「森のおくりもの」がカラーでご覧になれます。

『**太白山 森のおくりもの**』で検索。

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2013年8月号（毎月1回5日発行）
発行：（公財）仙台市公園緑地協会
編集：仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森36-63
Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133
E-mail: taihakusan_moushikomi@sendai-green-association.jp